

栃木県から「案件化調査」初採択

土木工事・新管敷設工事不要！アクアピグ工法による水質・供給量の向上！

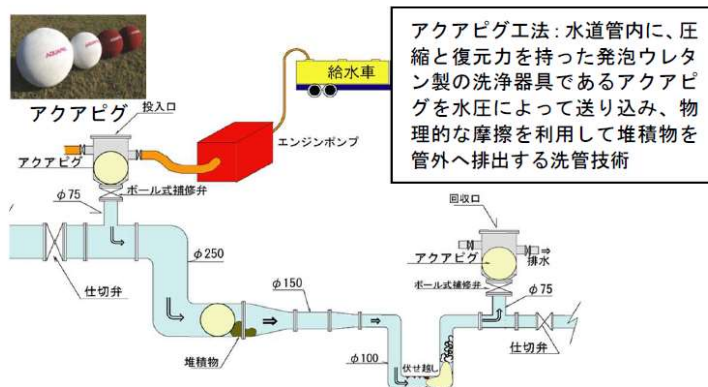
国際協力機構（JICA）は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において中里建設株式会社（栃木県佐野市、中里聡代表取締役）が提案する「都市給水の水質および供給力を向上するための送配水管内洗浄案件化調査」（インドネシア（以下「イ国」という））を採択しました。

イ国では、2019年までに安全な水へのアクセス100%を目指していますが、都市部での水道施設整備の遅れ・既存水道管の老朽化などにより、水道管内の付着物の増加による供給能力の低下や、水質（濁度）の基準超過などの課題を抱え、目標達成は困難な状況です（2013年時点で67.73%）。また、水道管維持管理に伴う、水道会社の財政健全化も大きな課題となっています。

中里建設株式会社のアクアピグ工法は、圧縮と復元力を持った洗浄器具であるアクアピグ（写真1）を、水圧によって水道管内に送り込み、物理的な摩擦を利用して堆積物を管外へ排出する洗浄技術です。イ国は、本提案製品の導入により、①水質改善、②供給量の向上、③既設排水管の寿命延長を、低コストで実現することが期待されます。



本調査では、ジャカルタ近郊のブカシ市において、アクアピグ工法の現地適合性や事業モデルの妥当性を検証するとともに、イ国内での同工法の普及に向けた事業化の可能性を検討します。



(図1)アクアピグ工法のイメージ

なお、本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」(注)として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

(注) 案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行うもの。本事業は2012年度から実施されており、2018年度第1回公示では20件が採択。栃木県では、里山エネルギー(株)が「基礎調査」を実施しているが、「案件化調査」の採択は今回が第一号。

参考：(プレスリリース) 2018年度第一回中小企業海外展開支援事業：49件の採択を決定

https://www.jica.go.jp/press/2018/20180816_01.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 筑波 研修業務・市民参加協力課 担当：金子・實方(じつかた)

TEL: 029-838-1117 e-mail: Kaneko.Kenji@jica.go.jp Jitsukata.Hiroaki.2@jica.go.jp